

病児病後児保育室 受け入れ範囲

◆申し込みができる病気等

※下記に掲載されている病気であっても、他の病児の病状によってはお預かりができないことがあります。

- 風邪や消化不良症（多症候性下痢）等の乳幼児が日常罹患する疾患
- 喘息等の慢性疾患
- 骨折等の外傷性疾患
- 下記の感染症疾患
 - ・インフルエンザ A 型 B 型・溶連菌感染症・カポジ水痘様発疹症
 - ・百日咳・胃腸炎・手足口病（熱 38.5 度以内）・咽頭結膜炎（プール熱）
 - ・伝染性紅斑（リンゴ病）・RS ウィルス・流行性耳下腺炎（おたふく風邪）
 - ・伝染性膿痂疹（とびひ）・ヘルパンギーナ・マイコプラズマ感染症
 - ・ヒトメタニューモウイルス（熱や咳の症状が落ち着いてから）

◆受け入れできない症状等

※医師連絡票があっても下記を総合的に判断し、お預かりできないことがあります。

- 38.5 度以上の高熱（発熱当日のお預かりはなし）
- 意識混沌
- 喘息の重篤な発作（急性発作）
- 原因不明で 2 週間以上続く咳
- けいれん後 48 時間以上経過していない
- 経口摂取が全くできない
- 嘔吐、下痢の症状が継続していて著しい脱水症状（おしっこが出ない等）
- 点滴、注射等の医療行為を必要とする又はしてきた場合
- 1 歳の誕生日を過ぎて MR（麻疹・風疹ワクチン）水痘ワクチン、BCG 未接種のお子さん
- かかりつけ医等の診療により、利用が困難と判断された場合
- 新型コロナウイルス陽性者又は濃厚接触者及び疑いのある方
- 風疹・麻疹・結核と診断された方

◆対象となる病気と回復期の考え方

- 風邪、消化不良（多少性下痢）等、お子さんが日常かかる病気
- 喘息等の慢性疾患
- 熱傷等の外傷性疾患

※発熱が 38 度を超え、朝からぐったりし、食事がとれない症状や、伝染性の初期の時、利用当日症状がぶり返すなど再度受診が必要と思われる場合は、お預かりできない場合があります。

◆病児室におけるインフルエンザ受け入れ基準

○発熱がある際は医師の判断にもよりますが、インフルエンザとコロナの検査を受けてくださいますようお願いいたします。

- ・発症後 5 日目で、熱が 38.0℃以下で受け入れ可能（症状が出た日を 0 日とします）
- ・インフルエンザ陽性だが、治療薬（タミフル等）を内服していない方は受け入れできません。

